

令和元年度若者の社会参加促進事業プランの実践

【東青地区（平内町）】

<企画事業の実践①>

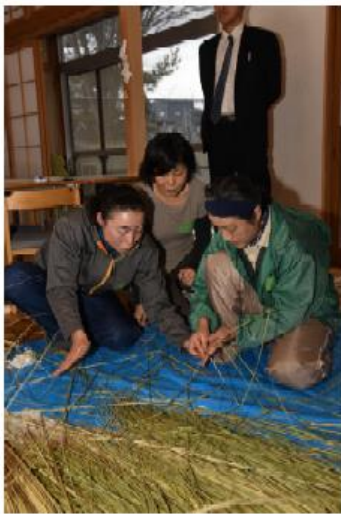
○期日：12/15(日) ○会場：平内町地域おこし協力隊のまちなかオフィス ○参加者：11名
○内容：しめ縄づくりワークショップ

平内町藤沢八幡宮に祀るしめ縄づくりに携わる地域の方を講師に招き、新年の願いを結ぶしめ縄づくりを実施。町の湿地帯に自生する「スゲ」を使用し、参加者同士協力しながら、それぞれのしめ縄が完成した。ワークショップには老若男女幅広い世代の参加者が集い、多世代交流にもつながった。また、講師の人柄もあると思うが、講師が地域の方ということが参加者にとって距離感が近く、和やかな雰囲気が進められたことも効果的であった。

<企画事業の実践②>

○期日：2/16(日) ○会場：平内町地域おこし協力隊のまちなかオフィス ○参加者：12名
○内容：椿油しぼりワークショップ

自宅の庭木などにある椿の種を提供してもらい、その種から油をしぼり、椿油がどのような香りや味がするのかをパンにつけて試食。さらに、椿油を使って他にどんなことができるかを話し合い、「油を使って石鹸ができないかな?」「それなら椿の花びらも入れたせっけんがいい!」などの意見も生まれ、新たな企画の可能性へと発展。また、「地域の子どもたちにもぜひ椿油しぼりを体験させたい!」と熱い思いを語る参加者もあり、本事業の取組の目的に適う人材も見出すことができ、今後もこれをきっかけに一緒に地域活動に取り組む仲間をさらに増やしていく。



参加者同志、互いに声を掛ける姿も



「しで」をつけてそろそろ完成



身をすり潰します



別な方法でもすり潰してみる



すり潰した身をガーゼで包んで蒸します



大森さん自家製圧搾機でギュッと力を込めて

【西北地区（五所川原市）】

<企画事業の実践①>

○期日：7/10(水) ○会場：県立金木高等学校 ○参加者：11名

○内容：新しい「何か」を考える

地域資源を生かした物産づくりのため、欲しい、作りたい、贈りたい「もの」について、地元高校生が意見交換やアンケート調査を行った。

<企画事業の実践②>

○期日：9/19(木) ○会場：県立金木高等学校 ○参加者：7名

○内容：アンケート結果の報告

金木に由来するキーホルダーの制作に向けたイメージの図案化を行った。

<企画事業の実践③>

○期日：10/12(土) ○会場：県立金木高等学校 ○参加者：7名

○内容：金木高等学校文化祭でのPR活動

来校したお客さんへ実行委員会の活動を知ってもらえた。

<企画事業の実践④>

○期日：11/18(月) ○会場：県立金木高等学校 ○参加者：7名

○内容：制作したいキーホルダーの具体的図案化

キーホルダーの図案化したものを回収し、制作してくれる町内の業者を探し、依頼した。

<企画事業の実践⑤>

○期日：1/8(火)、1/31(金)、2/18(火)、2/21(金) ○会場：県立金木高等学校

○参加者：12名

○内容：キーホルダーの制作

業者へ自分たちのイメージを伝えるためのサンプルを作るなど、色や大きさ、形、デザイン等、こだわりのある商品が完成した。地元の魅力を発信できるように、台紙に特徴をもたせた。今後、たちねぶた祭りでの販売、金木駅・斜陽館前での生徒による販売体験を予定している。





【上北地区（三沢市）】

<企画事業の実践>

- 期日：10/9(水) ○会場：県立三沢高等学校 ○参加者：約 260 名（生徒 240 名を含む）
- 内容：三沢高校生が自校で実践している総合的な学習の時間「モスプロジェクト」での取組を発展させ、「商店街の活性化」や三沢市が誘致しているカナダウィルチェアー（車いす）ラグビーチームへの取材を通した「共生社会のあり方」等をテーマに学びを深めた。また、それぞれのテーマにおける取組を SNS・動画等で発信することにより、地元との結びつきを強化した。

